

市民スキー大会

(2月5日)

「第56回大館市民スキー大会」が開催され、選手たちが熱戦を繰り広げました。

大滝温泉スキー場では、大回転競技とスノーボード競技が行われ、選手たちは日頃の練習の成果を思う存分に発揮して、好タイムを狙い技術を競い合いました。

また、樹海ドーム語らいの森では距離競技が行われ、家族やチームメンバーの大きな声援を受けた選手達が懸命な走りを繰り広げました。



おひなさま展

(2月10日)

郷土博物館では、毎年恒例の「おひなさま展」が開かれています(開催は3月25日まで)。会場には、約160年前に作られた「市内最古」とされる嘉永びなや押絵びななど、500体以上のひな人形が飾られています。

時代ごとに特徴のあるデザインで作られたおひなさまを見て、訪れた人達はひと足早い桃の節句を楽しんでいます。



かわいいおひなさまだね

雪中田植えで豊作祈願

(2月11日)

比内地域の中野地区に伝わる小正月行事「雪中田植え」が、高齢者センターで行われました。

地区の皆さんが見守る中、菅笠と蓑を着用した高橋久宜さんと阿部調一郎さんが、しめ縄を張った雪の田んぼに稲わらと豆殻を植え、豊作を祈願しました。



今年は豊作になりますように

大館アメッコ市

(2月11、12日)

大館の冬の風物詩「大館アメッコ市」が開かれ、2日間で10万5千人が訪れました。

この日にアメを食べると風邪をひかないと伝えられ、主会場のおまちハチ公通りでは、訪れた大勢のお客さんが色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を通って、風邪封じのアメを買い求めていました。

会場では、からみアメのサービスや白髭大神巡行、秋田犬パレードなどが行われ、アメッコ市に花を添えました。



白髭大神とおこうの巡行



からみアメをパクリ

